

# 米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く 187

## 高溝遺跡第5次発掘調査速報

### 調査の経緯

令和8年4月から5月にかけて、米原市高溝地先に位置する高溝遺跡の発掘調査を実施しました。高溝遺跡は米原市高溝から顔戸にかけて広がる大規模な集落遺跡で、周辺には多くの遺跡が密集しており、顔戸遺跡、長門寺遺跡、正光寺遺跡と共に、「顔戸遺跡群」と称されます。

今回の調査は、市道顔戸・八田羽織線道路改良工事に伴うものであり、道路の新設により、長期間にわたって地下遺構を調査する機会が失われてしまうことから、調査の実施に至りました。

### 高溝遺跡の既往の調査

高溝遺跡における調査は、昭和61年度から63年度に旧近江町教育委員会が実施した第1次調査に始まります。その後、平成元年度に第2次調査、平成11年度に第3次調査が行われ、令和4年度には米原市教育委員会が第4次調査を実施しています。

これまでの調査の結果、竪穴建物跡や掘立柱建物跡、井戸、溝などが数多く確認されたほか、平安時代の条里制に基づく土地

開発の痕跡である、碁盤目状の溝や方位の揃った建物の痕跡が見つかりました。

これらの成果から、この地域では縄文時代から平安時代に至るまで、長い期間にわたって人々が生活していたことが明らかになっています。

### 第5次調査成果

今回の調査では、道路整備の形と同様に、2m×30mの東西方向に長い調査区を設定しました。調査では、柱の穴とみられる遺構が複数確認されました。遺構からは、土師器や須恵器などの遺物が出土しており、古代の人々の生活の痕跡と考えられます。

また、土器のほか、平瓦片も複数点出土しました。古代において瓦は一般の住居ではなく、寺院などの特別な建物に用いられるものでした。高溝遺跡と隣接する法勝寺遺跡は古代寺院跡として知られており、今回出土した平瓦も、こうした周辺の寺院との関わりを考えるうえで興味深い資料といえます。

さらに、いくつかの遺構では、天目茶碗など中世以降に使用されていた遺物が出土しました。中でも注目されるのは、井戸跡の遺構です。

井戸には、深さ約80cmの底板を抜いた木製の桶が井戸枠として利用されていました。この桶は「結桶」と呼ばれるもので、細長い木板を円筒状に並べ、その周囲を竹の皮などで編んだ籠で締め上げて固定する構造をしています。かつては、このような桶や曲げ物を井戸枠として利用することが多くありました。また、井戸の内部からは、役目を終えた後に廃棄されたと思われる瀬戸美濃産の陶器などが出土したほか、幅が40cmもある巨石が3個見つかりました。井戸跡からこうした巨石が確認される事例は全国各地でみられ、水源である井戸に対する信仰意識から、井戸を廃絶する際には、儀式として巨石を入れていたと考えられています。

高溝遺跡はこれまで古代を中心とする遺跡として知られてきましたが、今回の調査によって、中世以降の暮らしを物語る井戸や陶器も確認され、地域の歴史を考える上で貴重な成果となりました。今後は、調査で得られた知見を深めていけるよう、調査記録や出土遺物の整理作業を進めていきます。

(生涯学習課)



第5次調査の調査区



今回の調査で見つかった井戸跡

## 消費生活相談コーナー

### 「ガスの無料点検」にご注意!

「ガスを無料で点検する」と電話があり来てもらうことにしたが、知らない業者だったため不安になった。



#### 消費生活相談員より一言

ガスの無料点検と言って来訪した業者が「このままでは危ない」などと不安をあおり、高額な修理などを迫ってくる場合があります。ガス設備は4年に1回程度(無料)点検を行うよう法律で定められており、まずは現在契約中のガス販売業者に確認しましょう。

「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)  
相談専用 ☎53-5110  
(受付) 平日 9時30分~16時

## 米原警察署情報

米原警察署 ☎52-0110

### 水難事故に注意しましょう!

湖川での事故を防ぐため、安全を第一に考えてレジャーを楽しんでください。水辺で遊ぶ際は次の点に注意しましょう。

- 疲れている時やお酒を飲んだ時は、水に入らない
  - 河川で増水のおそれがある場合は、水辺に近づかない
  - 子どもだけで水辺に行かせない、また、子どもから目を離さない
- なお、琵琶湖では、全ての船舶に対して酒気帯び操船が禁止されています。【お酒を飲んだら操船しない】を順守してください。



### 令和8年市内交通事故数 (5月末時点)

件数 26件(+5件) 死者 0人(-1人)  
傷者 30人(+9人) ※( )内は前年比